

聞け黒潮の愛の歌

蓮風

発行所
長崎県五島市池田町1番1号
長崎県立五島高等学校
PTA調査広報委員会
印刷所 才津印刷所

普通科第66回生 衛生看護科第39回生 卒業おめでとう



卒業生に贈る言葉

PTA会長 千代田 慎一



卒業生の皆さん本日はおめでとうでございます。また保護者の皆様には、おかげが立派に成長され、今日のこの日を迎えられることをお祝い申し上げます。そして本日まで温かく時には厳しくご指導いただきました校長先生はじめ先生方本当にありがとうございます。保護者を代表して心よりお礼申し上げます。さて、卒業生の皆さんは社会人になる第一歩を踏み出すわけですが、これまで保護者や周囲の大人に守られていた生活であり、これまでそれは不自由さを感じてきたのかも知れませんが、しかし、これからは自分の意志が尊重され、選択肢が広がる反面、責任も大きくなります。大人とは自分自身の行動や言動に責任を持てる人のことだと考えます。

皆さんがこれから生きていく上では、さまざまな困難や悩みがふつとやっていかなくてはなりません。どんな困難に対しても、知恵を絞り行動を起こして乗り越えて下さい。また、どうあがいても達成できないと感じた時は、軌道修正をしたり、引き返す勇気もときには必要になってきます。どんな結果になったとしても、自分で決めた事だとしても、自覚を持ち、決して人や環境のせいにはしないでほしいのです。ただ、人間が一人で行えることには限界があります。周囲の人に協力を求めることもまた、選択肢の一つです。今日に至るまで、たくさんの人たちと関係を築いてきたはずですから、これまでに以上に社会のさまざまな人との出会いを大切にし、自分自身のコミュニケーション能力を高めて社会人としてのスキルアップに励んでください。どうか一度きりの人生を決して無駄に過ごすことなく、高い志を持って自分身に納得できる生き方をしてほしいと願います。がんばってください。

『世代』に負けないで

PTA副会長 小川 明美



私が高校を卒業した頃、大人から『新人類世代』と言われました。私より少し早く生まれた人は『共通一次世代』、私より少し遅く生まれた人は『新人類ジュニア』などと言われたようです。日本人は、後から出てくる若者を『〇〇世代』と呼ぶ癖がついているようです。平成14年4月から、公立

学校でも毎週土日が休みとなりました。学校が休みの日は、よく子供たちが集まってボール遊びをしたり、ゲームをしたり...対戦中に誰かが負けても独自のルールを生み出し、負けた子がチームに戻れるという勝ち負けに固執しないところが印象的でした。ある日、子供たちがゲーム機をそれぞれ手に持って通信もせず遊んでいたの。ここに集まらなくてもいいんじゃないの?と聞くと誰かがクリアしたとき、みんな喜びがこぼれるから集まった方がいい。と子供たちが答えました。競い合って1番2番を決めるの

ではなく、友達との喜びを共に祝える余裕を感じました。でも、今年は、『ゆとり教育最後の年。来年はカリキュラムが変わる。後がな...』親も子も大きなプレッシャーとストレスがかかった一年でした。下が余地のないギリギリのところ立って戦った力は大きかったと思います。崖っぷちで戦うことができる精神力は間違いないです。大人が勝手に作った世代分けなど気にせず、自分の力を信じて大きく羽ばたいてください。頑張っていること、楽しんでることをの便りを待っています。(追伸)心が疲れた時、体がきつい時はふるさと五島に休み帰って来てくださいね。見守っています。

君は羽ばたくことができるか

五島高等学校校長 西川 晃 二



普通科六十六回・衛生看護科第三十九回の卒業生の諸君。
ご卒業おめでとうござい
ます。
この世に生を受けて十八年間、故郷・五島で諸君は育まれてきました。雛鳥の成長に喩え、諸君は卵の殻を破り、巣の中にはエサをもらい、やがて羽毛が生え、やっと羽ばたく準備ができてつある成鳥へ

の一段階前にとどり着いたところと言えるでしょう。これまでは、エサ(知識)は与えられてきました。これからは、自分で獲得していかねばなりません。果たして、諸君にはそれができるか。親鳥からすれば、おぼつかない雛、なんとかこなせる雛、大空へと羽ばたくに十分な雛と色々あります。この諸君が、今、羽ばたかねばならないわけです。いつまでも雛のままいることを願っても、許されせん。獅子は千尋の谷に子を投げ入れます。はい上がるとの子のみが生ける資格を得るわけです。今の親、今の

大人には、そのような親獅子はまれかも知れません。だとしても、現実世界はそう甘くはありません。夢破れたとき諸君はどうするか。その時どう対応できるかこそが「生きる力」を身につけたとも言えるのです。夢破れたときこそ、その人の真価が問われます。夢実現のためにどう準備してきたか。なぜ失敗したのか。等々と悩み苦しむはずですが、その時点で、羽を萎縮させてはいけません。夢破れば、また夢を見よ。そして夢が夢にとどまらず、現実につかむ道筋であるように奮闘努力するのです。
夢は破れるもの、それ故いつまでも夢を追い続ける、ひたむきな努力が必要なのです。
ぎばれ!!五島の子よ。

「人生の楽園」

第3学年主任 村田 誠



私が一番好きなテレビ番組は、「人生の楽園」です。土曜日の6時からですが、毎週、録画して見えています。西田敏行さんの「私、思うんです。人生には楽園が必要だってね。」というナレーションで始まり、第2の人生を楽しんでいる人たちが毎週、1組ずつ紹介する番組です。子育てを終え、定年を迎えたり、あるいは早期に退職した人が、田舎に住んで、農業をしたり、レストランや民宿を開いたり、町おこしに貢献したり

といった話しが多いのです。が、毎週、ほっこりして癒される番組です。
私が現在の仕事に疲れ、田舎で第2の人生を送りたいと思っているわけではありせん。思い切った仕事は辞めたり、退職金をはたいて民宿を始めたりする人々を見るたびに、「人間、志を立てるのに遅すぎるということはない。」という言葉が思い浮かびます。以前、勤めていた学校で、先輩の先生がよく使っていた言葉で、検索したところ、イギリスの政治家ボールドウィンの言葉だそうです。40歳を軽く越え、もはや若手とは言えない私ですが、自分の至らなさを反省し、今年これを頑張ろうと思ったりもします。そのときに、まだまだ遅すぎる

ということはない。頑張ろう。と自分に言い聞かせます。忘れてしまうことがあっても、思い出せば、そのときでも遅すぎるということはないから大丈夫。そんな緩い決断ではあります。が、自分に対し、言い聞かせています。「人間、志を立てるのに遅すぎるということはない。」さて、本題です。3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、お子様の卒業、本当におめでとうございませう。これまでも、18年間、手塩にかけて育ててきた子どもたちが、いよいよ巣立つ時がやってきました。喜ばしいなかに寂しさもある複雑な感慨に浸っておられるのではないのでしょうか。卒業式とは言っても、多くの生徒は進路が決まっています。まだしばらくは心配な日々が続くかと思いますが、最後までよろしくお願ひします。

～卒業生から～

【三年間を振り返って】

普通科スポーツコース 3年6組 土田 綺羅

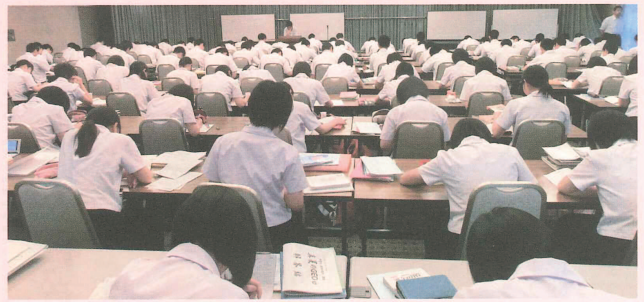
3年間、部活動や勉強、行事と毎日充実した日々を送りました。忍耐力、素直さ、体力面と精神的、肉体的に自分を磨くことができました。また、寮での生活では、集団行動の大切さを肌で感じ、身をもって学びました。経験し、学んだことは今後にも活かして行きたいです。



【三年間を振り返って】

普通科普通コース 3年4組 兒島 早紀

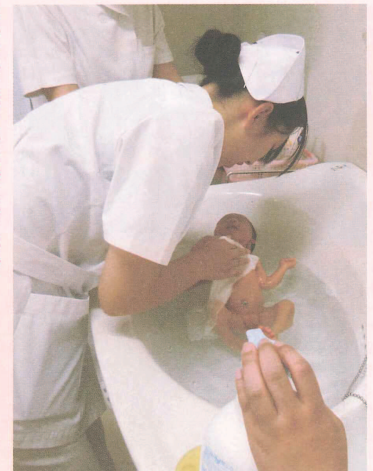
五島高校での三年間はとても大切な財産となりました。学校と家での学習は心身ともにつらく感じることもありましたが、五島高校で学ぶことができ本当によかったです。励まし合いながら時間を共有した仲間、一生の友だちです。支えてくれた先生方や保護者の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。卒業後は、高校生活で学んだことを生かし、次の目標を達成するために頑張ります。



【卒業に向けて】

衛生看護科 3年7組 魚見 未来

私たちは最終目標である准看護師資格試験全員合格に向け、猛勉強中です。最後まで粘り強く取り組んでいきます。今後は20人の進む道はそれぞれですが、今まで支えて下さった方々に感謝をし、自分の進む道に向け、目標を持ち努力を続けていきたいです。



P T A 研修会



自立して生きていく子どもに育てるために！

昨年十一月二十三日(土)

五島高校メモリアルホールにおいて、平成二十五年五島地区公立高等学校PTA研修会が開かれました。その中で、福岡県で助産師をされている内田美智子さんが、「いのちをいいたいで、育むこと」というタイトルで講演をしてくださいました。

生と食の話

つながりの話

命がけで生まれてきた子ども達の命を奪う原因は、次のようなものです。

- * 0〜4歳：先天奇形・染色体異常
- * 5〜9歳：不慮の事故
- * 10〜14歳：不慮の事故
- * 15〜19歳：自殺



と子ども達に伝えることが、私たち大人の役割・使命です。

* 20歳代の若者の死因の約半数は自殺
この子どもたちの命をどうやって守りますか。
「産まれることのない命」があります。生まれてきたこと・生きることすべて奇跡。私達も限られた命しかありません。いのちがけで産んだ人がいます。生きていくしかありません。自ら命を絶つてはいけません。これから、どう生きていきますか？

さあ、この命どう生きていきますか？
あなたの命です。
いずれあなた達は一人でも生きていくこととなります。
父さんも母さんも、皆さんより先に死んでいきますよと、子どもたちには伝えていきます。大人にその自覚があるかどうか？
なさ過ぎです。

高校を卒業すると(大学生・専門学校生・社会人)
何時に起きようが、何処に行こうが、何を着ようが、何色の髪にしようが、何を食べようが食べまいが、誰と付き合おうが、SEXをしようがしまいが、授業をサボろうがまじめに受けようが、誰にも何も言われないうすばらしい自由を手に入れます。

今日の若者(大学生)
性的トラブル・人生設計が変わる
・予期しない妊娠・性感染症・デートDV
・引きこもり・自殺
・一人暮らしなのに食事を作れない
・何をしていたかわからない
・目的が見つからない
・うまくいかない、すぐに人のせいにする
・何もしない、不平や不満、文句ばかり言う
・わが子は高校卒業後、どこで何をしているのか？幸せに生きていますか？自分か？笑っていますか？自分が自分でできます

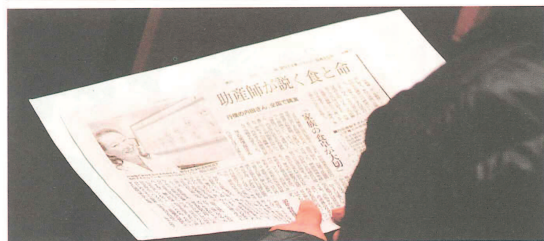
若者(大学生)の食生活の実態！
・菓子パンと水だけ
・バナナだけ
・カロリーメイト三日分
・カップ麺と水と唐揚げ
・炭水化物と塩と油と食品添加物と(たんぱく質と食品添加物)
・ハンバーガーセット
・お金がいくらあっても足りません
・お菓子、だけど食事(食品添加物満載...というより何より食事ではありません)

父さん母さんみたいな家庭を作りたい。母さんみたいなお母さんになりたい。先生みたいな大人になりたい。そんな風に思われる大人に私達はなりたい！そう思いませんか？家事が出来ない若者は素敵に生きていく。とくに料理が上手で、食べることを大事にする若者はカッコいい！自立への第一歩です。カッコいい若者を紹介しましょう。

「忙しい大学生が、一品持ち寄りの弁当の日を開く！」
皆で食べるお弁当は、最高に美味しい！
「花よりお弁当の日」ワークショップ感想文より
今まで私は台所に立つことがなかった。皿も洗わなかったし、皿を流しに持っていくことすらしなかった。そんな私が変わって本当に家族も皆も友達も驚いている。そして、私が高校のとき毎日何気なく持っていた食糧で面倒くさいことを母はしてくれていたのかと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。

「手に弁当、心に感謝をもつて」
大学生による大学生のための食育ワークショップに若者が九州各地から集まりました。イベントの最後に書き残した、大切な〇〇さんに伝えたいこと、今日学んだこと...両親に伝えたいこと。
□父・母・家族へ
産んでくれてありがとう。育ててくれてありがとう。ご飯まずいと言つてごめん。いつも「俺は一人で生きてきた」みたいなことを言ってきたけど、そんなことをあるわけではなく、家族に支えられて今まで生きてきたんだと感じました。

こんな若者を育てることが私たち大人の役割です。子ども達はこれまでの時間をやり直すことはできませんが、子ども達がこれから生きていく力を大人は与えることができます。そう思いませんか？
わたし達大人は、子どものそばにいられる時間はそう長くはないです。親が子どもに遺せるものもそう多くないです。子ども達の人生を最後まで見届けることができないうのが大人です。子ども達が生まれてきてくれたことに感謝をしたいと思います。



先生が話されたように「いつも考えているのは子どもの幸せ」だけではない。困り悩んだりした時は、いつでも思っている親がいることを忘れずに連絡してほしい。
子どもは親のことをよく見ています。毎日の食事も手を抜いたときは黙って食べていますが、「今日の弁当おいしかったよ。」「このおかずおいしいね。」「何気なく言ってくる言葉は嬉しいものです。子どもの言葉一つで親は幸せを感じます。子どもも同じように親の態度や声で愛されていると感じてはいます。多くの言葉をかけてきたのか振り返ります。

わが家では、娘から「料理はできるけど、洗濯はどうやってするの。」といわれてしまい、教えてないことに驚いてしまいました。卒業する子ども達に内田先生は、人は生きるために生まれてきます。人を愛する為に生まれてきます。誰かに愛されるために生まれてきます。
子どもたちを見守って、愛している親や先生方がいることを自覚して生きてください。

高校を卒業すると、ほとんどの子ども達は進学や就職でこの島を離れます。そんな子ども達に「何を伝えてきたのか。」を改めて考えていました。
家族で食事をするのが当たり前だと思っていたのに、ひとりで食べている子どものことを思い、親は淋しくなります。
先生が話されたように「いつも考えているのは子どもの幸せ」だけではない。困り悩んだりした時は、いつでも思っている親がいることを忘れずに連絡してほしい。
子どもは親のことをよく見ています。毎日の食事も手を抜いたときは黙って食べていますが、「今日の弁当おいしかったよ。」「このおかずおいしいね。」「何気なく言ってくる言葉は嬉しいものです。子どもの言葉一つで親は幸せを感じます。子どもも同じように親の態度や声で愛されていると感じてはいます。多くの言葉をかけてきたのか振り返ります。

内田先生の講演会に参加して
嘉山 都

専 門 委 員 会 報 告

会 長

調 査 広 報 委 員 会

- PTA 広報誌「蓮風」の発行
- 五島地区高等学校 PTA 研修会への参加

皆さんの思いの結晶「蓮風」
委員長 小田 光治

五高生の良さがやっぱりにスポットライトを当てることをコンセプトに掲げ、PTA 広報誌「蓮風」の紙面を構成するようにしました。

発行するたびに、調査広

報委員と担当の先生方に集まっていただいて編集会議を開き、みんなで知恵を出し合っ、紙面を構成したり、ゲラ刷りの校正をしました。

皆さんが原稿依頼を快く引き受けてくださり、寄稿してくださったおかげで、今年度も、年二回「蓮風」

を発行することができました。

これまで御協力くださった方々に深く御礼申し上げます。また、担当の先生方には懇切丁寧にお世話していただいたことに感謝致します。一年間、「蓮風」をご愛読いただき、本当にありがとうございます。

進 路 対 策 委 員 会

- 進学関係の行事への参加
 - ・ 進路講演会
 - ・ センター試験100日前集会
 - ・ 学習合宿激励
- マラソン大会での炊き出し参加
- 五島地区高等学校 PTA 研修会への参加

一年を振り返って
委員長 橋詰 さと子

六年前初めて豚汁作りに参加しました。それ以来欠かさず豚汁作りに参加してきました。学年関係なくいろいろな話題で盛り上がりながら作業をすすめています。お母さん達のパワーはたいしたもの

であつという間に野菜をきざみ六百食以上の豚汁を作り上げます。豚汁作りは進路対策委員会の主な活動の一つです。他の活動としては三年生ならではの行事を中心とした活動が主でした。センター百日前集会、学習合宿等があります。学習合宿は本土の方で行われるため港で激励のエールを送りました。軽い気持ちで引き受けた委員長でしたが他の役員さん、先生方にサポートしていただき無事終えることができました。二年後末娘が五高に入学できた折にはまた何かお役にたてたらいいなあと思っています。一年間ありがとうございました。

健 全 育 成 委 員 会

- 夏休みの夜間巡視
- 福江みなとまつり（ねぶた）への参加
- 五島地区高等学校 PTA 研修会への参加

今年の健全育成委員会
委員長 山本 稔

何か自分にもお手伝い出来ないかとこの仕事を引き受けました。

今年の健全育成委員会の活動は、夏休みの夜間巡視と福江みなとまつりへの参加でした。

夏休みの夜間巡視では、先生方の温かい助けもあり、子どもたちをみかけることもなく無事に終えることができました。福江みなとまつりでのねぶたへの参加は、雨の為中止になってしまいました。正直、ねぶたへの参加は楽しみにしていたので、とても残念でした。

一年を通しての活動は、一回と少なかったですが、委員長という形で協力させていただき、大変感謝しております。そして、協力してくださった先生方ありがとうございました。これからも、五島高等学校の益々のご発展を心から祈りいたしております。

総 務 委 員 会

- PTA パザーの企画・運営
 - ・ 五高祭食物パザー
 - ・ 五高祭りサイクルパザー
 - ・ 体育祭飲料パザー
- 五島地区高等学校 PTA 研修会への参加

一年を振り返って
委員長 貞方 沙智子

総務委員会の活動は、おもに、体育祭での飲料パザーと五高祭での食物・サイクル・飲料パザーでした。

今年の体育祭は天候に恵まれず、市民体育館での平日開催となりましたが、役

員の方々をしてたくさんの方々の保護者の方々に「賛同いただき無事終えることが出来、心から御礼申し上げます。また、先生方には事前準備から当日開催までアドバイスや多大なご協力をいただき、大変感謝しております。

振り返ってみると、初め

のことで不安もありましたが、多くの方々に助けられ、とても楽しく活動することが出来ました。

一年間、本当にありがとうございました。

